

令和 3年度予算見積調書

課室名：文化振興課
 担当名：総務・財団担当
 内線：2878

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B19	文化芸術特別企画助成事業費			一般会計	総務費	県民費	文化振興費	県立文化施設管理運営費	
事業期間	平成18年度～ 令和 6年度	根拠法令	地方自治法第244条の2、埼玉県彩の国さいたま芸術劇場条例第14条、埼玉会館条例第14条	宣言項目	06	次代を担う人財育成		SDGsゴール	4
				分野施策	061349	文化芸術の振興		SDGsターゲット	4-7
1 事業概要 (公財)埼玉県芸術文化振興財団が自主的に企画・制作する彩の国さいたま芸術劇場における文化芸術特別企画事業への助成を実施することにより、芸術性が高い作品の鑑賞機会を県民に提供するとともに、県民の創造的な文化芸術活動の活性化を促進する。 (1) 文化振興事業費 59,351千円 (2) 運営費 26,876千円				5 事業説明 (1) 事業内容 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団が自主企画、制作する文化芸術事業で、県の文化振興上特に意義があると認める事業に対し助成を行う。 ア 文化芸術特別企画事業費 59,351千円 イ 運営費 26,876千円 (2) 事業計画 ・彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾「終わりよければすべてよし」シェイクスピア全37作品の上演に挑む彩の国さいたま芸術劇場の看板シリーズ「彩の国シェイクスピア・シリーズ」の第37弾を、吉田鋼太郎2代目シリーズ芸術監督の演出により上演する。 ・さいたまネクスト・シアター第7回公演 2009年に蜷川幸雄前芸術監督が創設した若手演劇集団「さいたまネクスト・シアター」の第7回公演。岩松了の演出による新作を上演する。 ・さいたまゴールド・シアター「水の駅」 さいたまゴールド・シアター公演として、今注目を集める演出家・杉原邦生を演出に迎え、太田省吾の伝説的無言劇『水の駅』を上演する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(3) 事業効果 芸術性の高い文化芸術作品の鑑賞機会を県民に提供するとともに、県民の創造的な文化芸術活動の活性化を促進する。					
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	86,227							86,227	△14,837
前年額	101,064							101,064	